

新安保法制は日本を どこに導くか

元内閣官房副長官補
元防衛省幹部

柳澤
協二 氏



1946年生まれ。東京大学法学部卒業。1970年、防衛庁（当時）入庁。審議官、局長、官房長などを歴任し、2004年から約5年半、小泉・安倍・麻生3代政権にわたって内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）を務め、自衛隊のインド洋海上補給支援活動やイラク派遣などの立案にも携わった。現在、NPO法人国際地政学研究所理事長。

著書として、『検証 官邸のイラク戦争 元防衛官僚による批判と自省』（岩波書店）、『亡国の安保政策——安倍政権と「積極的平和主義」の罫』（岩波書店）、『亡国の集団的自衛権』（集英社新書）、『新安保法制は日本をどこに導くか』（かもがわ出版）、『自衛隊の転機——政治と軍事の矛盾を問う』（NHK出版新書）など。

**入場
自由**

**参加
無料**

2016年6月11日（土）14:00 開場 / 14:30 開演

くまもと県民交流館パレア（9階・会議室3）

所在地：熊本市中央区手取本町8-9

■ 主催 熊本県弁護士会（TEL：096-325-0913）
■ 共催 日本弁護士連合会